

●日ソ知事会議（モスクワ、ボルゴグラード、レニングラード）七七年五月

奥田奈良県知事を団長に神奈川、埼玉、新潟、福井の五人の知事、北海道、青森、兵庫など

四人の副知事で訪ソ、長洲知事の秘書として随行した。

独ソ戦血の川なりしボルガ河　いま静かにチヨウザメ泳ぐ

（第2次大戦最大の激戦地、ソ軍120万、独軍85万、市民50万が死傷）

日本知事領土の話ばかりなり　ソ側白けて沈黙しきり

長洲知事にロシア語渡し二分スピーチ　ソ側みな起ち拍手喝采

（ボルゴには涙、レニングには詩、モスにはドラマ、我らには友情」の趣旨を露語で）

私にもロシア語挨拶書いてくれ　いい来し知事はお医者さんなり

久保秘書は頭が高いぞと吾（あ）を責めし　某県副知事大蔵の人

（私の素性を知った後は副知事扱いにしてくれた）